

試験番号	7472	7473	7474	7475	7476	7477	7478	7479	
被験物質	名称 硝酸バリウム	酢酸亜鉛 (II)	2-メトキシエチル=アクリラート	N-(1,1-ジメチル-3-オキシブチル)アクリルアミド	イソブチルアミン	ビニルスルホン酸ナトリウム	テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド	2-メチル-1,3-プロパンジオール	
	英名 Barium nitrate	Zinc acetate	2-Methoxyethyl acrylate	N-(1,1-Dimethyl-3-oxobutyl) acrylamide	Isobutylamine	Sodium Vinylsulfonate	Tetramethylammonium hydroxide	2-Methyl-1,3-propanediol	
	略名 BN	ZA	MEA	DOA	IBA	SVS	TAH	MP	
	CAS No. 10022-31-8	557-34-6	3121-61-7	2873-97-4	78-81-9	3039-83-6	75-59-2	2163-42-0	
	分子量 261.34	183.50	130.14	169.22	73.14	130.09	91.15	90.12	
	製造 和光純薬工業	和光純薬工業	和光純薬工業	和光純薬工業	和光純薬工業	東京化成工業	和光純薬工業	東京化成工業	
	ロット YSF7379	CTE6081	KPL1711	PDL4419	ECP4344	KMXYM	KPF6990	GGG4E	
用量設定試験	濃度 (mM) クリスタルバイオレット法	0.020, 0.039, 0.078, 0.16, 0.31, 0.63, 1.3, 2.5, 5.0, 10	0.020, 0.039, 0.078, 0.16, 0.31, 0.63, 1.3, 2.5, 5.0, 10	0.020, 0.039, 0.078, 0.16, 0.31, 0.63, 1.3, 2.5, 5.0, 10	0.020, 0.039, 0.078, 0.16, 0.31, 0.63, 1.3, 2.5, 5.0, 10	0.020, 0.039, 0.078, 0.16, 0.31, 0.63, 1.3, 2.5, 5.0, 10	0.020, 0.039, 0.078, 0.16, 0.31, 0.63, 1.3, 2.5, 5.0, 10	0.020, 0.039, 0.078, 0.16, 0.31, 0.63, 1.3, 2.5, 5.0, 10	
	細胞増殖	0.63-5.0 mMで促進	0.039 mMで促進、0.078 mM以上で阻害	0.078 mM以上で阻害	10mMで阻害	10mMで阻害	影響無し	10 mMで促進	影響無し
	培地のpH	変化無し	1.3mM以上で低くなった	変化無し	変化無し	1.3mM以上で高くなった	変化無し	1.3mM以上で高くなった	変化無し
	沈殿	無し	被験物質添加時に肉眼で2.5 mM以上、細胞染色後に顕微鏡観察で0.31 mM以上	無し	無し	無し	無し	無し	無し
形質転換試験	濃度 (mM)	0.078, 0.16, 0.31, 0.63, 1.3, 2.5, 5.0, 10	0.01, 0.02, 0.03, 0.04, 0.05, 0.06, 0.07, 0.08	0.02, 0.03, 0.04, 0.05, 0.06, 0.07, 0.08	1.0, 2.5, 4.0, 5.5, 7.0, 8.5, 10	2.8, 4.0, 5.2, 6.4, 7.6, 8.8, 10	1.8, 2.5, 3.5, 5.0, 7.1, 10	3.0, 4.0, 5.0, 6.0, 7.0, 8.0, 9.0, 10	1.8, 2.5, 3.5, 5.0, 7.1, 10
	細胞増殖	0.31-2.5mMで促進	0.040-0.080mMで促進	影響無し	7.0mM以上で阻害	4.0-6.4mMで促進、10mMで阻害	影響無し	5.0 mM以上で促進	影響無し
	形質転換巢の有意な増加	0.31, 0.63, 1.3, 2.5mMで見られた	0.060及び0.070 mMで見られた	0.05, 0.06, 0.07 mMで見られた	全濃度で見られず	全濃度で見られず	全濃度で見られず	6.0, 7.0, 8.0, 9.0, 10mMで見られた	全濃度で見られず
	培地のpH	変化無し	実施濃度では変化無し	変化無し	変化無し	被験物質処理群の全用量で高くなった	変化無し	被験物質処理群の全用量で高くなった	変化無し
	備考	5.0, 10 mMでは細胞毒性作用により、培養途中で全細胞が剥がれたことから、評価対象外とした		0.080 mMでは細胞毒性作用により、培養途中で全細胞が剥がれたことから、評価対象外とした		10 mMでは細胞毒性作用により、培養途中で全細胞が剥がれたことから、評価対象外とした			
結論 (in vitroプロモーション作用)	陽性	陽性	陽性	陰性	陰性	陰性	陽性	陰性	

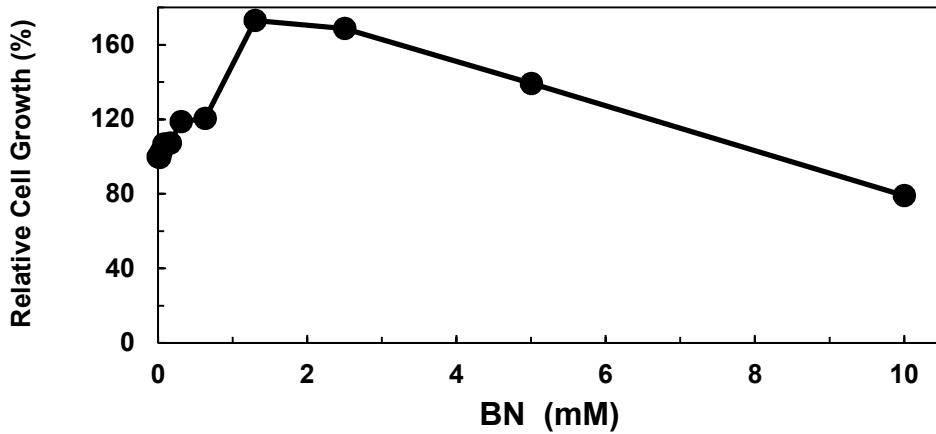


図1 硝酸バリウムのBhas 42細胞における用量設定試験の結果

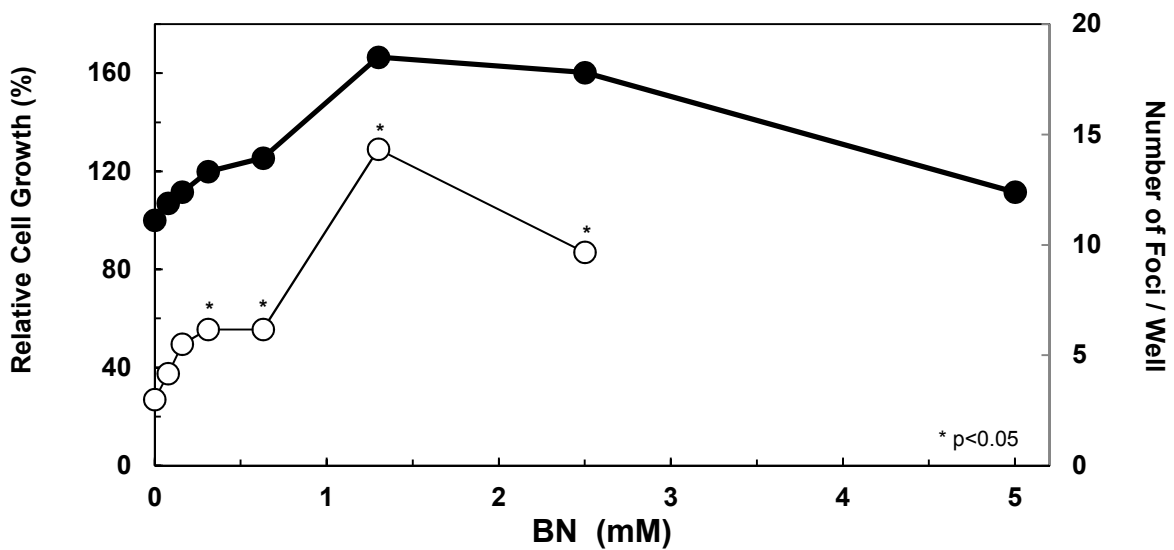


図2 硝酸バリウムのBhas 42細胞における形質転換試験の結果

注) 5.0、10 mMでは細胞毒性作用により、培養途中で全細胞が剥がれたことから、評価対象外とした。また、10 mMの相対細胞増殖率を省略した

●: 相対細胞増殖率(%), ○: 形質転換巣数/ウェル

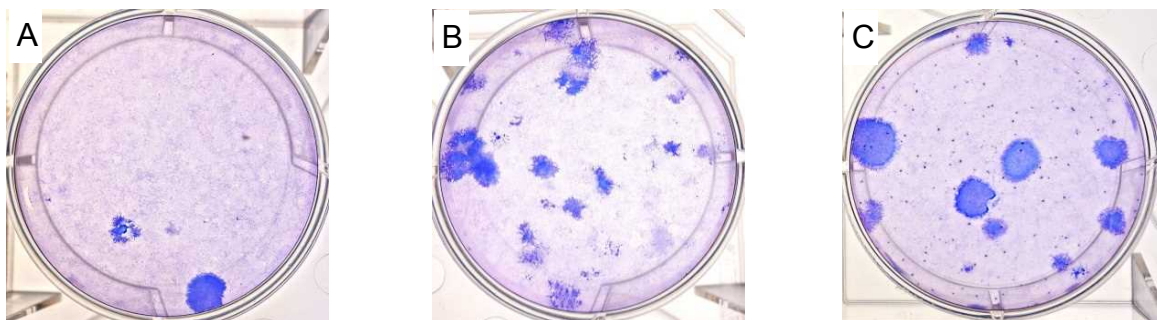


図3 染色したBhas 42細胞の代表的ウェル

A: Water 5 vol%, B: TPA 50ng/ml, C: BN 1.3 mM

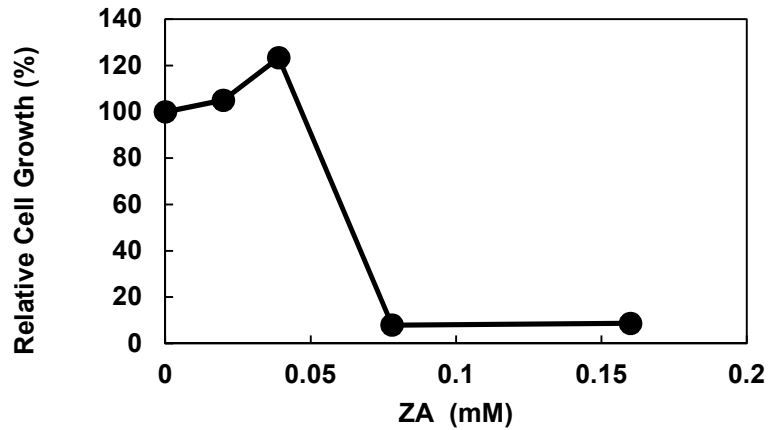


図4 酢酸亜鉛(II)のBhas 42細胞における用量設定試験の結果  
注)0.31-10 mMの値は省略した

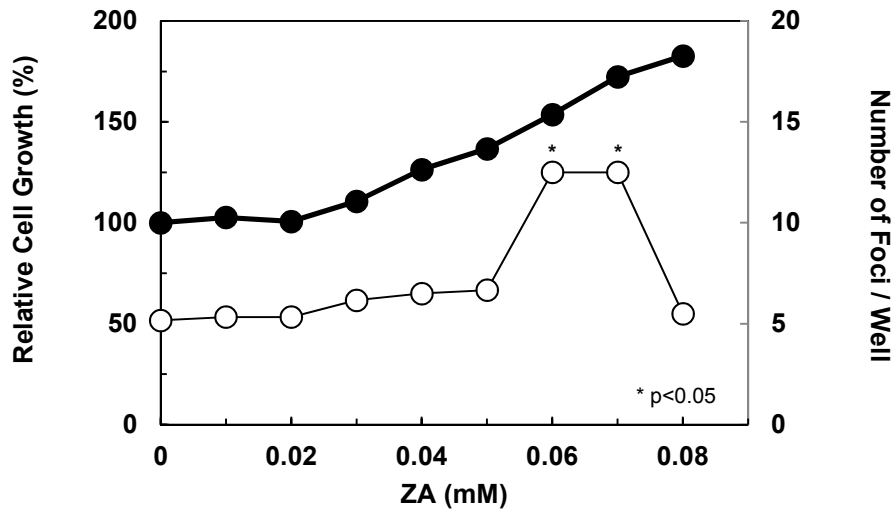


図5 酢酸亜鉛(II)のBhas 42細胞における形質転換試験の結果

●: 相対細胞増殖率(%), ○: 形質転換集数/ウェル

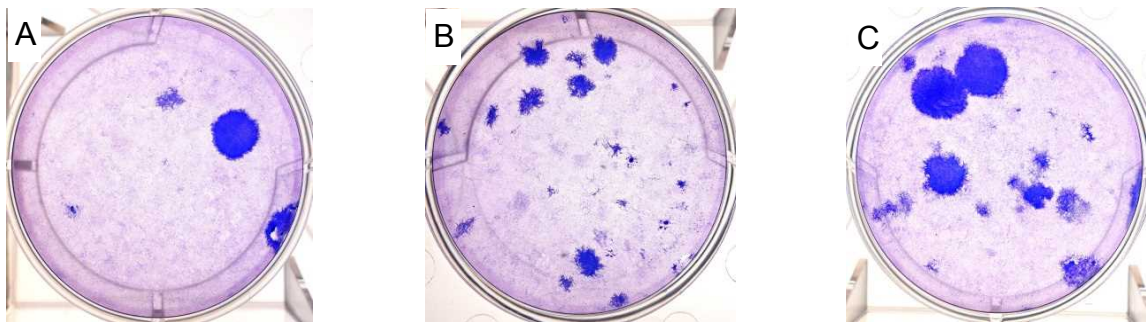


図6 染色したBhas 42細胞の代表的ウェル

A: Water 5 vol%, B: TPA 50ng/ml, C: ZA 0.070 mM

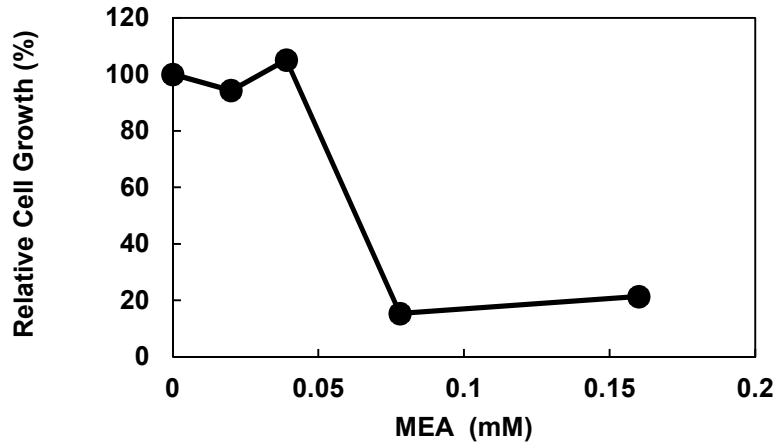


図7 2-メキシエチル=アクリラートのBhas 42細胞における用量設定試験の結果  
注) 0.31-10 mMの値は省略した

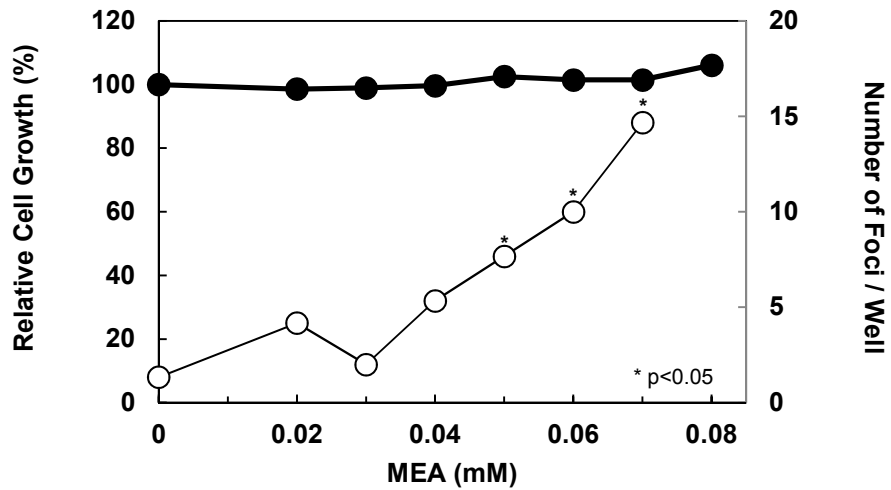


図8 2-メキシエチル=アクリラートのBhas 42細胞における形質転換試験の結果  
注) 0.080 mMでは細胞毒性作用により、培養途中で全細胞が剥がれたことから、評価対象外とした

●: 相対細胞増殖率(%), ○: 形質転換巣数/ウェル

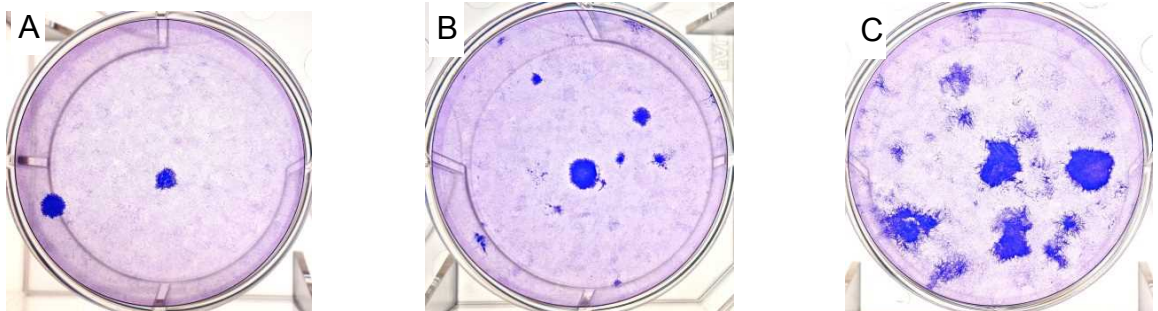


図9 染色したBhas 42細胞の代表的ウェル

A: Water 5 vol%, B: TPA 50ng/ml, C: MEA 0.070 mM

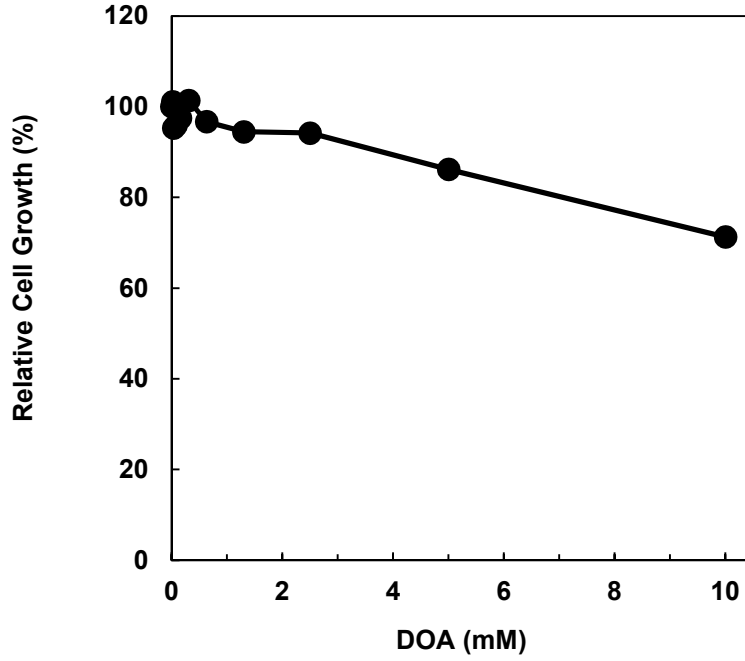


図10 N-(1,1-ジメチル-3-オキソブチル)アクリルアミドのBhas 42細胞における用量設定試験の結果

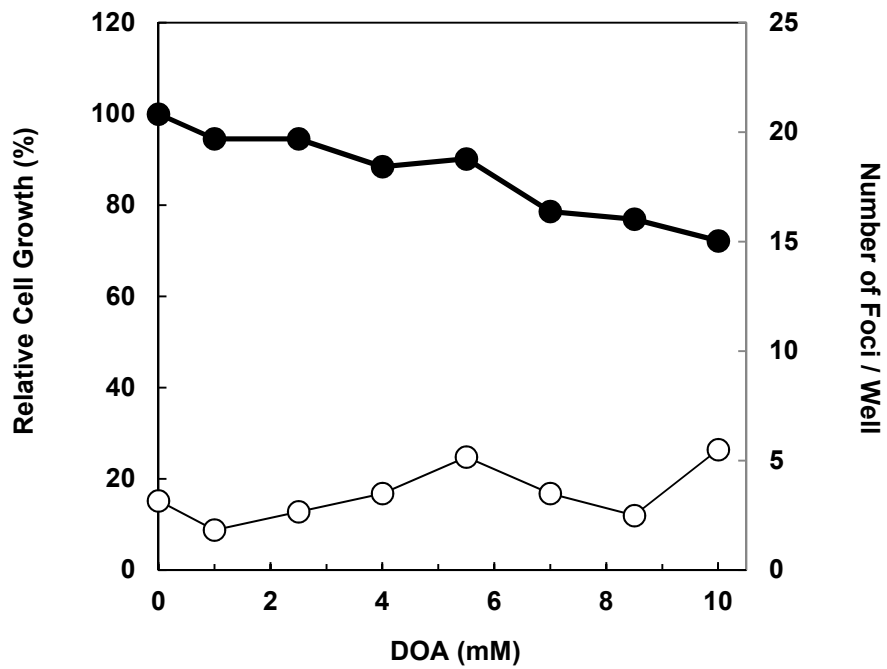


図11 N-(1,1-ジメチル-3-オキソブチル)アクリルアミドのBhas 42細胞における形質転換試験の結果

●: 相対細胞増殖率(%), ○: 形質転換巢数/ウェル

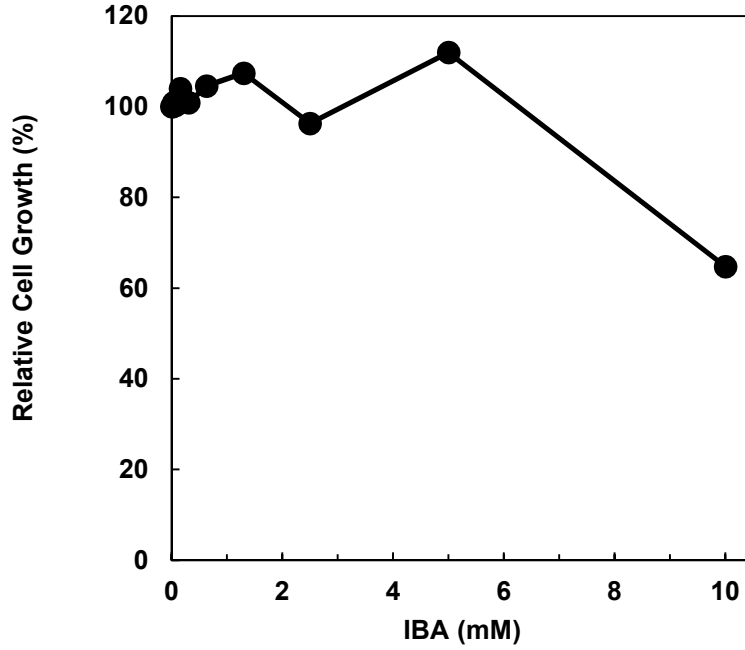


図12 イソブチルアミンのBhas 42細胞における用量設定試験の結果

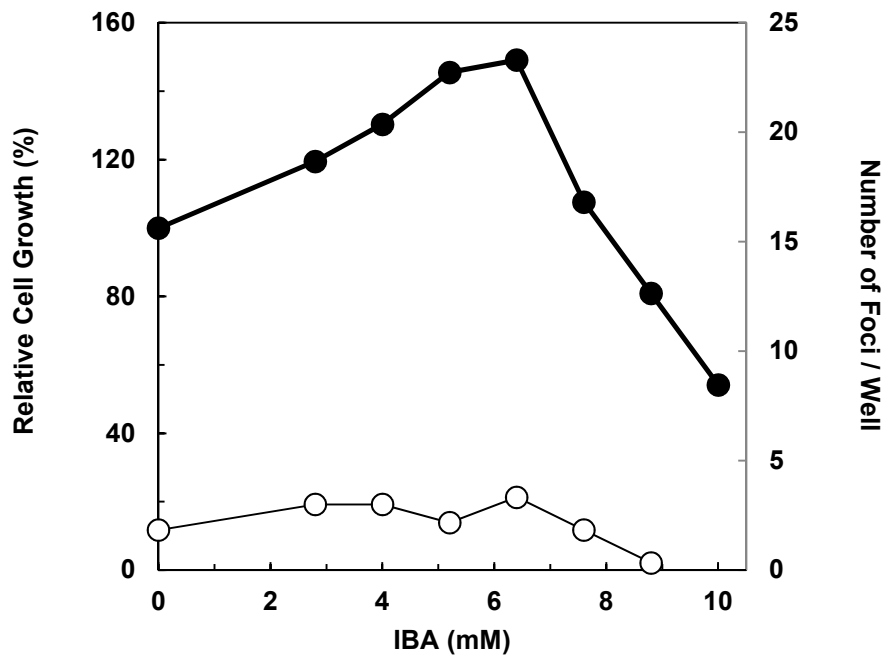


図13 イソブチルアミンのBhas 42細胞における形質転換試験の結果

注) 10 mMでは細胞毒性作用により、培養途中で全細胞が剥がれたことから、評価対象外とした

●: 相対細胞増殖率(%), ○: 形質転換巣数/ウェル

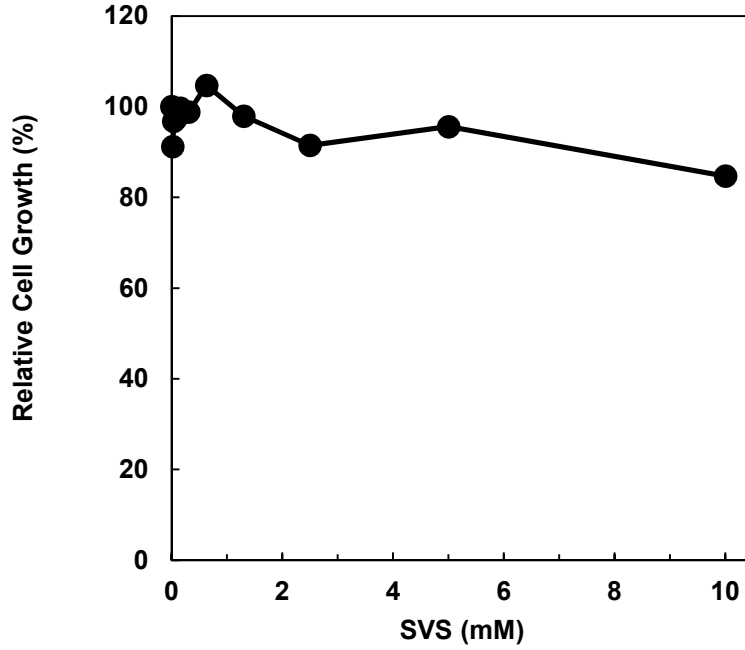


図14 ビニルスルホン酸ナトリウムのBhas 42細胞における用量設定試験の結果

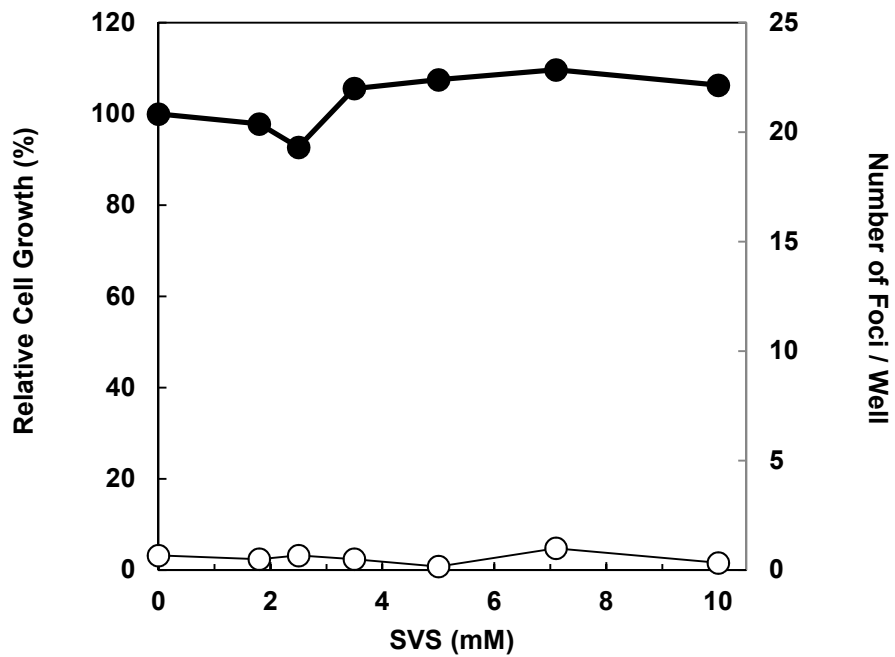


図15 ビニルスルホン酸ナトリウムのBhas 42細胞における形質転換試験の結果

●: 相対細胞増殖率(%), ○: 形質転換巢数/ウェル

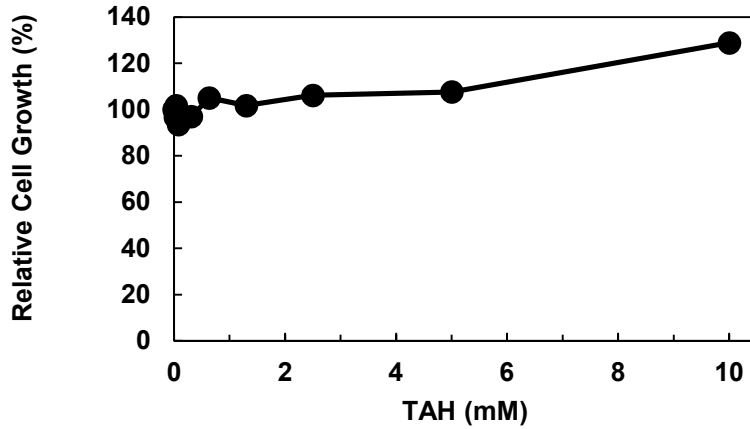


図16 テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシドのBhas 42細胞における用量設定試験の結果

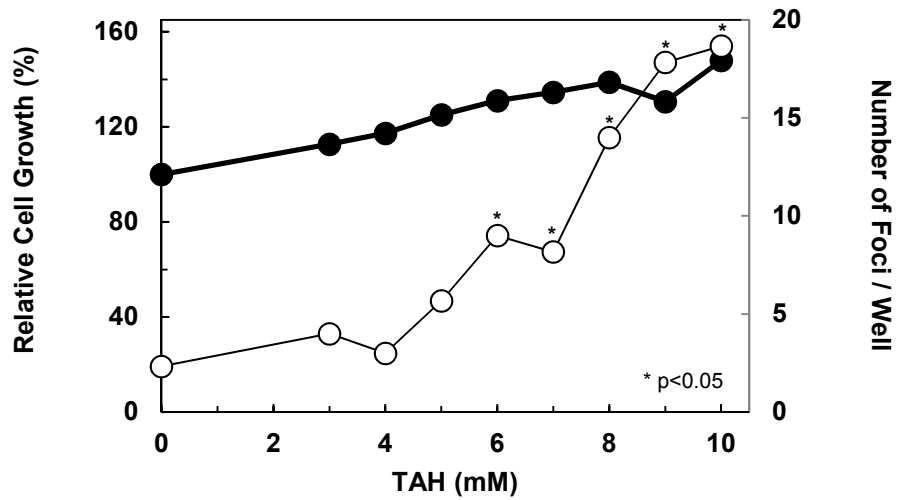


図17 テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシドのBhas 42細胞における形質転換試験の結果

●: 相対細胞増殖率(%), ○: 形質転換巣数/ウェル

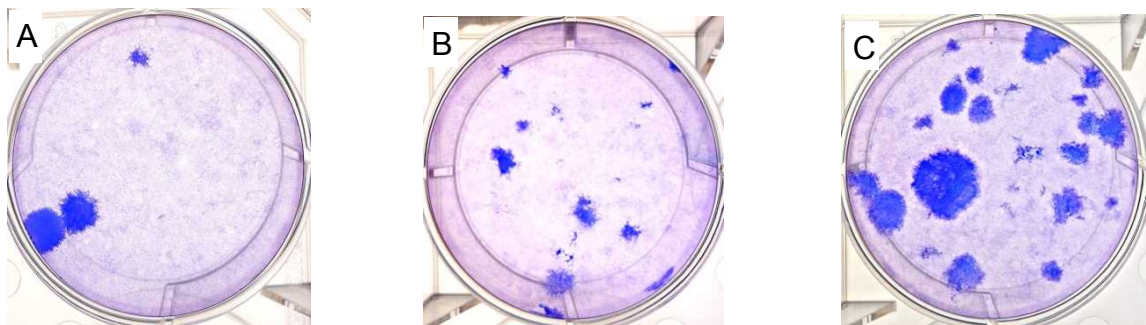


図18 染色したBhas 42細胞の代表的ウェル

A: Water 5 vol%, B: TPA 50ng/ml, C: TAH 9.0 mM



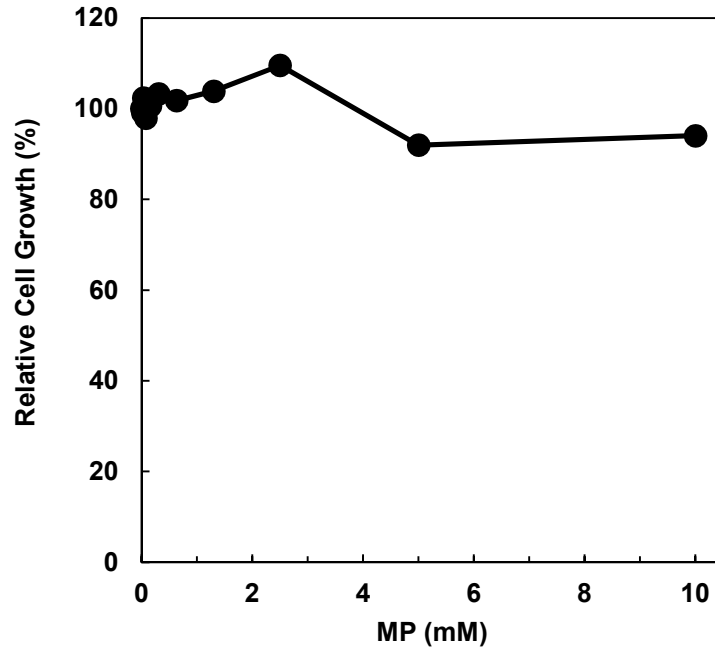


図19 2-メチル-1,3-プロパンジオールのBhas 42細胞における用量設定試験の結果

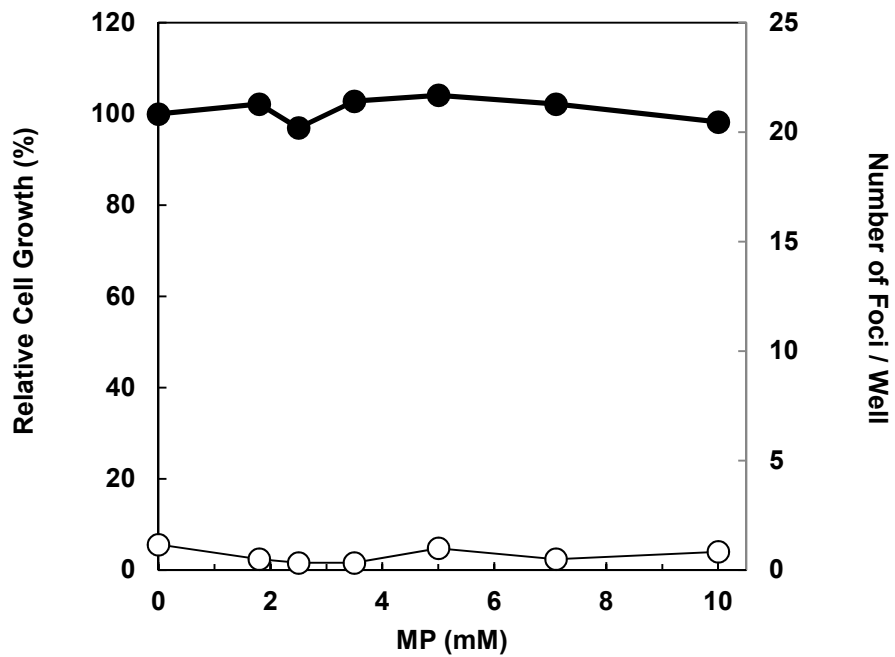


図20 2-メチル-1,3-プロパンジオールのBhas 42細胞における形質転換試験の結果

●: 相対細胞増殖率(%), ○: 形質転換巣数/ウェル